

# サービス業

## 業況、売上、採算

今期（2021.10～12）の業況判断DIは16.0で、前年同期(2020.10～12)と比べ49.3ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

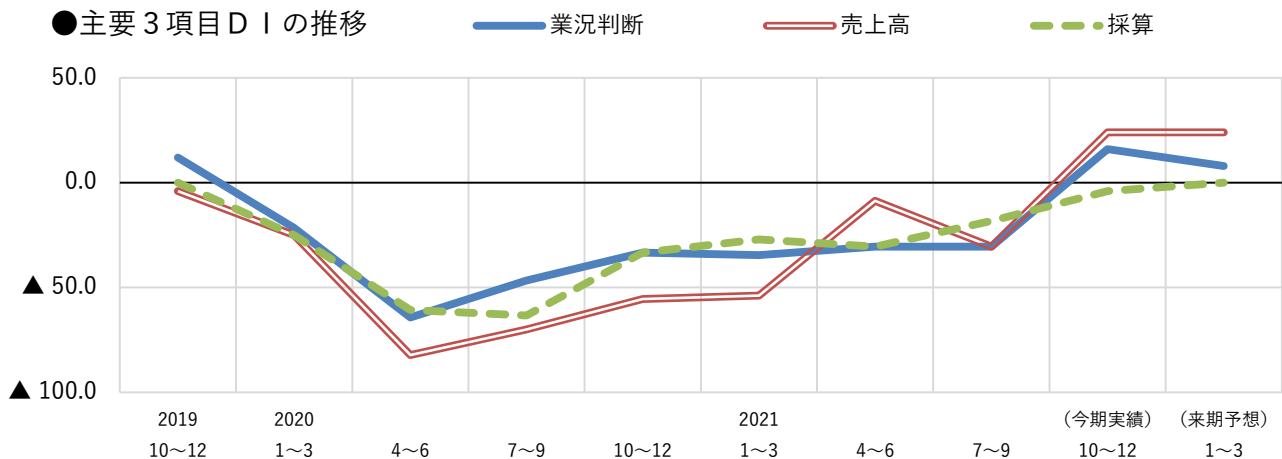
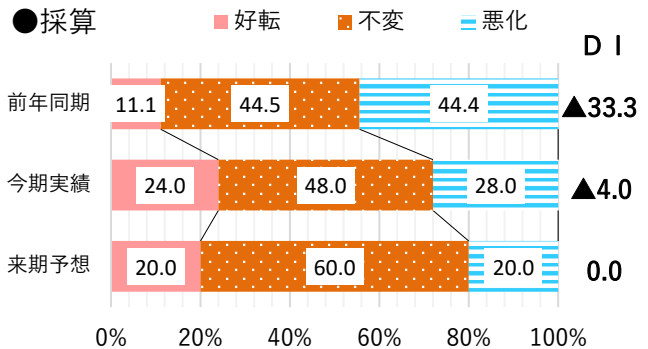
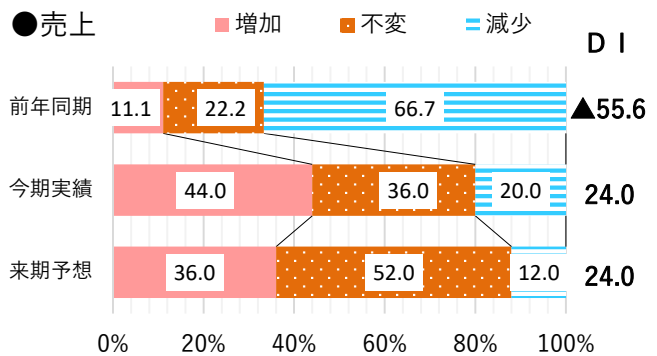
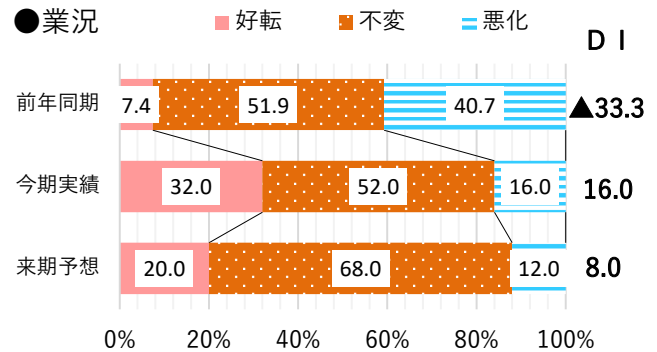
来期（2022.1～3）は、業況の好転傾向が弱まると予想しています。

今期の売上高DIは24.0で、前年同期と比べ79.6ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、売上の横ばいを予想しています。

今期の採算DIは▲4.0で、前年同期と比べ29.3ポイント上昇しました。

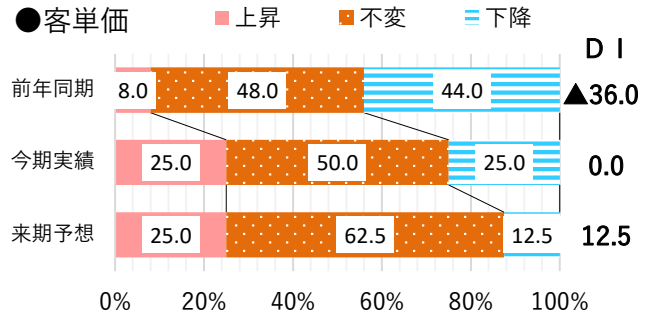
来期は、採算の悪化傾向が弱まると予想しています。



客単価、利用客数、仕入単価

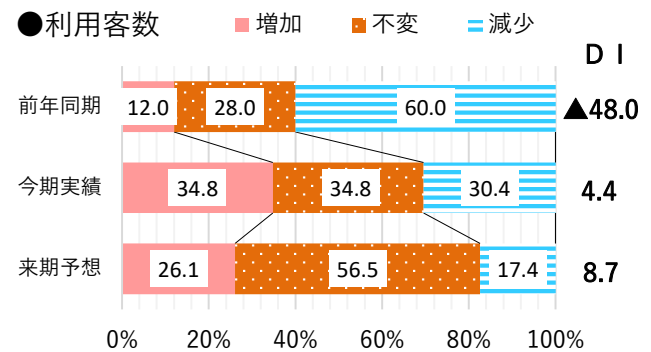
今期の客単価DIは0.0で、前年同期と比べ36.0ポイントと大幅に上昇しました。

来期は、客単価がプラスに転じると予想しています。



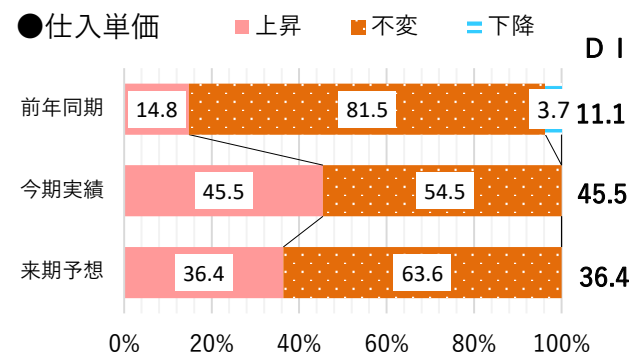
今期の利用客数DIは4.4で、前年同期と比べ52.4ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、利用客数の増加傾向が続くと予想しています。



今期の仕入単価DIは45.5で、前年同期と比べ34.4ポイントと大幅に上昇しました。

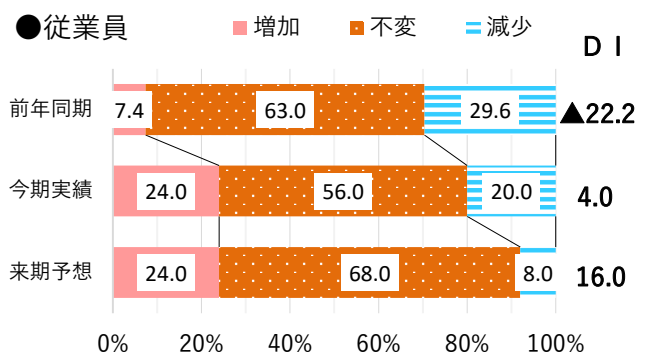
来期は、仕入単価の上昇傾向が続くと予想しています。



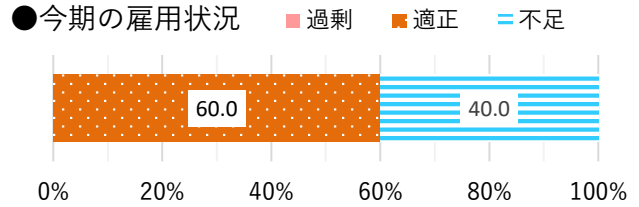
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員数DIは4.0で、前年同期と比べ26.2ポイント上昇し、プラスに転じました。

来期は、従業員数の増加傾向が続くと予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は60.0%、不足していると回答した企業の割合は40.0%でした。



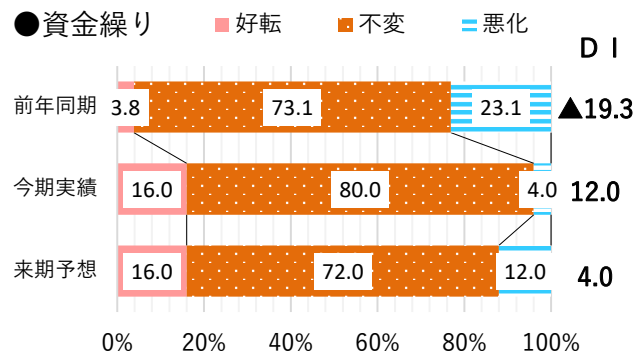
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、サービス業全体の32.0%を占めています。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	6
	不足	0
不変だった	過剰	0
	適正	8
	不足	6
減少した	過剰	0
	適正	1
	不足	4

次いで多かったのは「従業員数は前年同期比で増加し、充足している」、「従業員数は前年同期比で変わらず、不足している」（同位）という回答でした。

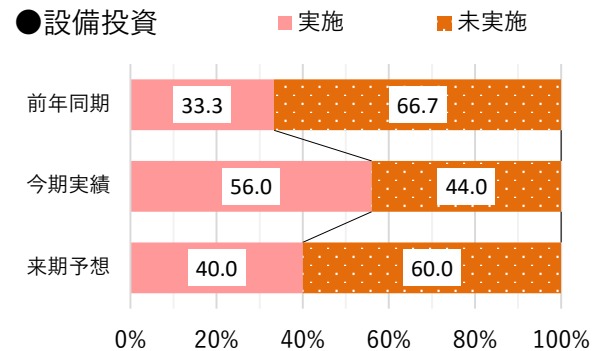
### 資金繰り、設備投資

今期の資金繰りDIは12.0で、前年同期と比べ31.3ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。



来期は、資金繰りの好転傾向が弱まると予想しています。

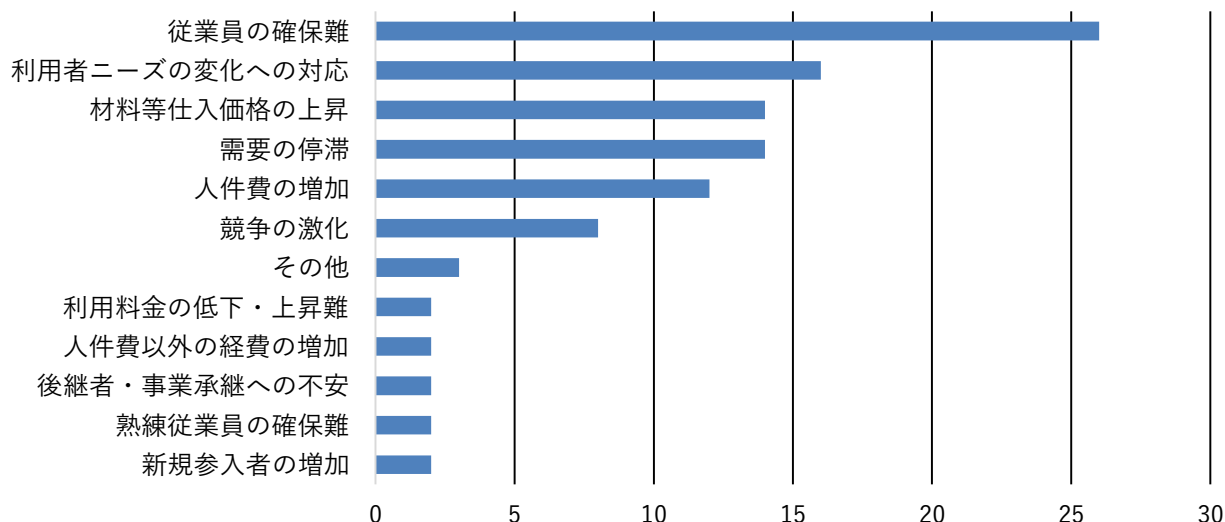
設備投資を実施した企業の割合は56.0%で、前年同期と比べ22.7%増加しました。投資内容は、1位が「OA機器」、2位が「車両運搬具」の順です。



来期に設備投資を計画している企業の割合は40.0%で、減少を予想しています。

## 経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点は、1位が「従業員の確保難」、2位が「利用者ニーズの変化への対応」、3位が「材料等仕入価格の上昇」、「需要の停滞」（同位）の順です。



## 企業の声

### [今期の業況について]

- 緊急事態宣言が解除され、客足は戻りつつあるが、地球温暖化や赤潮の影響で魚介類の仕入単価が高く、利益率が悪化しているため、値上げもやむを得ない状況だ。（飲食店）
- 人材確保が全く出来ずにいるが、客足は回復しつつある。最低賃金を引き上げた。（飲食店）
- 広告料収入が減少した。（出版業）
- 10月から最低賃金が増え、人件費が増加したものの、取引先に対する値上げが困難なため、収支が悪化した。従業員の高齢化に伴い、退職者が増加しているが、補充が進まない。（ビルメンテナンス）
- 原油価格の高騰により、仕入単価が増えた。（ビルメンテナンス）
- コロナ禍で低迷していたが、雇用調整助成金や旅行以外の事業で業況が好転した。（旅行代理店）
- 緊急事態宣言が解除され、利用客数が増えたことで売上は増加したが、物価上昇の影響で、理美容への支出額が減少しており、客単価が低下した。仕入価格と最低賃金が増えた。（美容業）
- 10月頃から客足が戻り、売上が回復した。原油価格の高騰により、材料費が増加した。（写真業）
- 口コミにより、利用客数が増加した。（写真業）
- 契約数が減少した。（保険業）
- 売上はやや増加傾向にある。中国の新疆ウイグル自治区人権問題を発端にした綿花の値上げが、仕入原価の高騰につながった。重油の値上げも利益減少の要因だ。（各種物品賃貸業）
- 昨年比で客数は減少したが、新規会員の会費等で収入が増えた。（スポーツ施設）

### [来期の業況について]

- 魚介類の価格高騰が続くと思われる。（飲食店）
- 引き続き旅行需要は伸び悩むと思われるが、旅行以外の事業で減収分を補填したい。（旅行代理店）
- イベントに出かける機会が増えると客数も増えるので、経済の活性化に期待する。（美容業）
- 利用客数の微増を見込む。（写真業）
- 重油価格の上昇傾向は落ち着くと思われる。仕入価格の動向は読めないため、顧客への値上げ交渉も併せて実施することで、経営の安定化を図る。（各種物品賃貸業）
- コロナ禍前の水準まで、来場者数は回復しないと思われる。安定した収入を確保するため、年会費とプレー料金を値上げを予定している。新入会員の増加に取り組みたい。（スポーツ施設）